

C 0 1 記念碑（北出頌徳碑）



所在地 芙蓉団地東側
建立年月日 昭和16年8月17日
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

昭和14年、馬産地納内の幼駒運動場用地が求められていた時、自らの所有地3396坪を進んで提供した北出ふよ、同繁太郎の徳を偲んで建てられた。

C 0 2 基盤整備之碑



所在地 神竜土地改良区
建立年月日 昭和51年9月
建立者 神竜土地改良区
管理者 神竜土地改良区
建立の由来等（建碑緒言抜粋）

昭和40年代に入り我が国の農業及びこれをめぐる諸情勢は著しい変化を生じ総合農政に於いても新たな展開等各種施策を図ることが要請され、この一環として農業生産基盤の整備拡充が、強力かつ計画的に推進することが緊要とされ当改良区は、道、団体営土地改良事業に依り用水路の装工整備をなし、更に機械化農業を進めるため不定形、小区画の圃場を30アール以上の大区画とし、農地の集団化により機械一貫作業体系を確立して、農業近代化と生産の向上を図らんとする目的をもって昭和40年より本事業に着手、関係各位の絶大なる協力を得、茲に整然たる美田と灌漑施設が完工したもので、この大事業を後世に伝えんとするものである。

C 0 3 明治三十七・八年役出征記念碑



所在地	納内神社境内
建立年月日	明治 39 年 5 月
建立者	—
管理者	—
建立の由来等	不明

C 0 4 忠魂碑



所在地	納内神社境内
建立年月日	大正 11 年 5 月再建
建立者	屯田兵及び村有志
管理者	—
建立の由来等	

日露戦役にて名誉の戦死を遂げた屯田兵 8 名、現役 2 名の英霊を祀って、明治 40 年 8 月神社鳥居西側に建立され、さらに大正 11 年 5 月、社殿の西側に移遷されたが、後年、日支事変大東亜戦争へと戦役が拡大されて行き、その犠牲となった英霊は逐年増加して、現在 108 柱の英霊が今日の平和を陰ながら喜んでいるものと思う。

納内神社創祀 100 年を期して、苔むして台座も不安定となりたるを以て平成 9 年 8 月この場所に移遷せしものなり。

C 0 5 頌徳碑



所在地 納内神社境内
建立年月日 昭和31年9月
建立者 納内村
管理者 総務課
建立の由来等

昭和30年7月12日納内村議会に於いて名誉村民の称号を贈るに当り納内村之を建つ。(明治29年屯田兵として納内に入植し、納内地域発展に功績を残した村上清孝が名誉村民の称号を与えられたのを記念して建てられた。)

C 0 6 開村記念碑



所在地 納内神社境内
建立年月日 昭和3年9月
建立者 納内村
管理者 総務課
建立の由来等

納内村の開村を記念して建立。

C 0 7 納内神社創祀百年記念碑



所在地 納内神社境内
建立年月日 平成9年8月
建立者 納内神社創祀百年記念事業奉賛会
管理者 納内神社
建立の由来等

明治28年同29年に入植した屯田兵をはじめとする人々の心の拠り所として明治31年尚武山の中腹に小神殿を建立し天照皇大神を奉斎するを創祀とする。

その後氏子の相互扶助の精神と敬神崇祖の顕われとが一致し明治35年秋現在地に遷宮せしものなり。

以来数度にわたる神殿の改修築累年の変遷と曲折を経てここに百年の星霜を重ねるところなり。

よって創祀百年に当たり氏子の浄財により記念の諸事業を実行しこの記念碑を建立して後世に創祀の意義を伝承せしむるとともに郷土の安寧と発展に永劫の加護あらんことを希求するものなり。

C 0 8 屯田歩兵第1大隊第5中隊本部跡

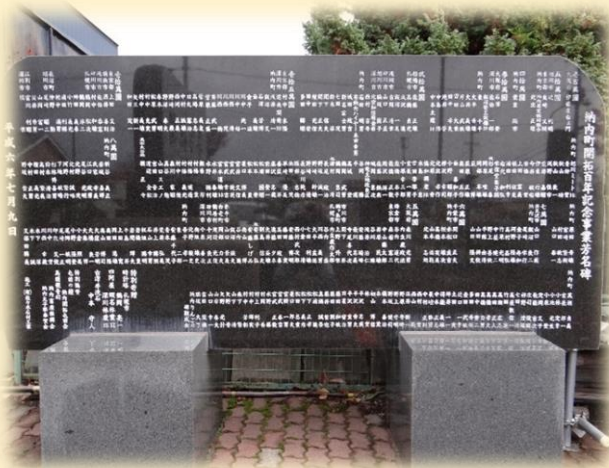


所在地 開拓記念公園
建立年月日 昭和53年5月15日再建立
建立者 納内北拓同志会
管理者 納内北拓同志会
建立の由来等

屯田歩兵第一大隊第五中隊200戸が明治28・29年に納内に移住し北辺の警備と開拓に任じた。その屯田開拓の偉業を偲んで第五中隊跡地にこの碑を建立したものである。

碑は昭和42年8月に、木製で建立されたが、老朽化が著しく納内開拓80周年事業の一環として現在の碑が建立された。

C 0 9 納内町開拓百年記念事業芳名碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 平成6年7月9日
 建立者 納内町開拓百年記念事業委員会
 管理者 ー
 建立の由来等

納内町開拓百年記念事業の実施に当たり、寄付者や協賛者を記した碑。

C 1 0 納内町開拓百年記念碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 平成6年7月9日
 建立者 納内町開拓百年記念事業委員会
 管理者 ー
 建立の由来等

納内町は明治二十八・九の兩年、屯田兵二百名とその家族が北方の警備と新天地開拓の大任を抱きこの地に入植して今日の納内がある。

老樹空を掩う昼なお暗い鬱蒼たる原始林を切り開き、血を覆う熊笹の根を掘り起こし、黒い大地に感動しながら開拓への情熱と愛郷の心を燃やし幾多の苦難に耐えて我が郷土を拓かれた。

兵農の務めを両全、開拓の実を挙げ納内町今日の礎を築いた先人の偉業を称えこれを受け継いだ人々の遺徳に深甚なる謝意を捧げ、ここに開拓百年を迎えるに当り町民と所縁の人々の願いを込めて、由緒ある屯田本部跡地に記念碑を建立し、培われてきた開拓魂と郷土愛の精神を後世に継承すると共に、ふる郷悠久の平和と繁栄を願って止まない。

題字は小川東洲氏書

C 1 1 納内屯田兵芳名碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 平成 12 年 11 月
 建立者 納内町開拓屯田会
 管理者 —
 建立の由来等

この芳名碑は、納内在住屯田兵直系者及び納内町開拓屯田会役員その他賛同者のご協力により墾したものである。

C 1 2 馬頭観世音菩薩



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 昭和 16 年
 建立者 松原作次郎氏
 管理者 畜産関係者
 建立の由来等

馬は農耕と人、物資の輸送に大きく貢献する納内に約 600 頭の馬が飼われた時期あり。馬の安全を祈願し、更に没した馬霊を供養するために、昭和 16 年、松原作次郎氏が寄進した。

祠は平成 6 年納内町開拓百年に際し百年事業委員会及び畜産関係者が寄進した。

C 1 3 りんご之碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 昭和 33 年 8 月 8 日
 建立者 納内果樹組合
 管理者 納内果樹組合
 建立の由来等

納内りんごの発祥起源は明治 29 年に始まり、大正 12 年中川嘉一氏の驚異的努力と、りんご博士 島善鄰先生の献身的な指導により後年一大産業として栄えた。昭和 33 年りんごの碑を中川園の一角に建立され、爾来 35 年の間、心の寄り所としてりんご祭を開催し果樹振興の役割を果たしてきた。

納内開拓百年を迎えるに当り、この地に永く保存し次代の果樹生産者の意欲を昂め益々の繁栄を期する。(平成 5 年 8 月現在地に移設)

C 1 4 屯田の鐘



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 —
 建立者 納内町開拓屯田会寄贈
 管理者 —
 建立の由来等

屯田兵入植時代、中隊本部に掲げられ、朝夕の合図、集合の号令などに鳴らされ、当時の生活に欠かせなかった鐘。

C 1 5 二宮尊徳像



所在地 納内小学校
 建立年月日 昭和 29 年 5 月
 建立者 深澤吉平氏寄贈
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

旧内園小学校にあったが、学校統合により、統合先の納内小学校に移設された。

C 1 6 未来を創る



所在地 納内小学校
 建立年月日 平成 7 年 9 月 1 日
 建立者 開校百周年記念事業推進
 実行委員会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

平成 7 年、納内小学校は開校百周年を迎えました。先人の不撓不屈の精神とたくましい努力は伝統としてこの尊い血と汗の結晶であります。

ここに一世紀という節目を迎えるにあたり同窓生、PTA、所縁の人々の願いを込めて「未来を創る」大切な心の支え、時代への飛躍を期し、記念碑を建立しました。

題字は、小川東洲氏書